

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	竹原市公共下水道（防災・安全）																
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）					交付対象	竹原市										
計画の目標	生活環境の向上と公共水域の水質向上を達成するため、公共下水道事業を実施する。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による都市浸水対策達成率（中央排水区）を、49%（H22末）から83%（H26末）に向上させる。 中央排水区における幹線管渠の長寿命化計画を策定し、計画的な修繕・改築を行うことで機能確保及びライフサイクルコストの削減を図る。 																
定量的指標の定義及び算定式						定量的指標の現況値及び目標値					備考						
						当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)									
	<ul style="list-style-type: none"> 下水道による都市浸水対策達成率（中央排水区） 中央排水区 雨水幹線管渠長寿命化計画策定率 					浸水対策完了済面積（ha）／浸水対策を実施すべき面積（ha） 長寿命化計画策定済み幹線管渠／全幹線管渠					49%	75%	83%				
						0%	0%	100%									
全体事業費	合計 (A+B+C)	425百万円	A	425百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		0.0%						
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制						事後評価（中間評価）の実施時期											
竹原市建設部下水道課において実施						事業終了後 公表の方法 市ホームページにて公表											
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
中央排水区																	
A-2-1	下水道	一般	竹原市	直接	—	雨水	新設	中央排水区雨水幹線整備（浸水対策）	□800～1800mm, L=0.5km	竹原市						406	
A-4-1	下水道	一般	竹原市	直接	—	雨水	増設	中央第2雨水排水ポンプ場	冷却水ポンプ増設	竹原市						0	
A-5-1	下水道	一般	竹原市	直接	—	雨水	改築	長寿命化計画策定	長寿命化診断・計画策定	竹原市						19	
											合計	425					
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
											合計						
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考						

C 効果促進事業				直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象							H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		都市浸水対策達成率（中央排水区）の最終目標値である83%を達成できた。 また、中央排水区における幹線管渠の長寿命化計画を策定した。		
II 定量的指標の達成状況	指標①（浸水対策達成率）	最終目標値	83%	目標値と実績値に差が出た要因 概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	83%	
	指標②（長寿命化計画策定率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因 概ね順調な事業進捗であった。
		最終実績値	100%	
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）				
3. 特記事項（今後の方針等）				
今後も雨水幹線等の整備を行い、浸水被害の軽減を図り、安全で安心な暮らしを実現する。 また、長寿命化対策についても、計画的な修繕・改築を行い、機能確保及びライフサイクルコストの削減を図る。				

社会資本総合整備計画

計画の名称	竹原市公共下水道（防災・安全）		
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）	交付対象	竹原市

